この電子添文をよく読んでから使用して下さい。※※

体外診断用医薬品
製造販売届出番号：13A2X00196218029

※※ 2021年 8月改訂（第6版）
※ 2012年 8月改訂（第5版）

血液検査用カルシウムキット

シカオート Ca

【全般的な注意】※※

1. 本品は体外診断用であり、それ以外の目的に使用しないで下さい。
2. 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の関連する結果等と合わせて担当医師が総合的に判断して下さい。
3. 電子添文に記載された使用方法に従って使用して下さい。記載された使用方法及び使用目的以外での使用については、測定値の信頼性を保証致しかねます。
4. 使用する機器の電子添文及び取扱い説明書をよく読んでから使用して下さい。

【形状・構造等（ｷｯﾄの構成）】※※

ｼｶｵｰﾄ Ca　試薬1　緩衝液

ｼｶｵｰﾄ Ca　試薬2　発色液

o-ｸﾚｿﾞｰﾙﾌﾀﾚｲﾝｺﾝﾌﾟﾚｸｿﾝ(o-CPC)

【使用目的】

血清又は血漿中のｶﾙｼｳﾑ(Ca)の測定

【測定原理】

1. 測定原理

検体中のCaはｱﾙｶﾘ側で o-CPC と反応して赤紫色の錯体を生成します。この錯体の生成量を分光学的に測定することにより、それに比例する検体中の Ca 濃度を求めます。

$$\text{o-CPC} + Ca^{++} \longrightarrow \text{o-CPC-Ca 錯体}$$

2. 特徴

8-ｵｷｼｷﾉﾘﾝの添加により Ca と特異的に反応します。

【操作上の注意】

1. 測定試料の性質、採取法

(1) 測定には血清又は血漿を使用して下さい。
(2) 検体は採取後、直ちに測定に用います。すぐに測定しない場合は密栓して凍結保存して下さい。但し、凍結融解を繰返した検体の測定については、測定値の信頼性を保証致しかねます。
(3) 抗凝固剤として EDTA を用いた血漿では測定値が低くなる可能性がありますので、使用しないで下さい。

2. 妨害物質

(1) 検体中の妨害物質の影響は、ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ 500 mg/100 mL、抱合型及び遊離型ﾋﾞﾘﾙﾋﾞﾝ 20 mg/100 mL、乳び 2000 ﾎﾙﾏｼﾞﾝ濁度、ｱｽｺﾙﾋﾞﾝ酸 50 mg/100 mL まで影響を認めません。
(2) 強度の乳び、溶血で、測定値に正誤差を与える場合があります。

3. その他

(1) 採血管使用時、採血量が適量以下の場合、測定値に影響を及ぼす事があります。
(2) 検体により、検体中の目的成分以外の物質との反応や妨害反応を生じる事があります。測定値や測定結果に疑問がある場合は、再検査や希釈再検査、あるいは他の検査法により確認して下さい。

【用法・用量（操作方法）】※、※※

1. 試薬調製法

試薬溶液-1：試薬1 緩衝液をそのまま使用します。
試薬溶液-2：試薬2 発色液をそのまま使用します。
標　準　液：別売のｶﾙｼｳﾑ標準液または、ﾏﾙﾁｷｬﾘﾌﾞ 6M を使用して下さい。

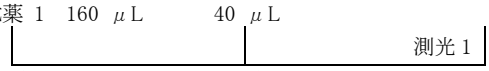
2. 操作法

本品は各種自動分析装置に使用されますので、その操作法の一例を示します。

（自動分析装置　操作法例）

（日立 7180 自動分析装置の場合）
主波長 570 nm、副波長 660 nm

検体	2 μL	試薬 2	
試薬 1	160 μL	40 μL	



吸光度＝測光 1
反応温度:37 ℃、試薬ﾌﾞﾗﾝｸ:精製水又は生理食塩水

3. 適応機種

日立 7000 ｼﾘｰｽﾞ、日本電子ﾊﾞｲｵﾏｼﾞｪｽﾃｨ、ｷﾔﾉﾝ TBA-FR ｼﾘｰｽﾞ、ﾍﾞｯｸﾏﾝ・ｺｰﾙﾀｰ AU ｼﾘｰｽﾞ等、各種分析装置へのｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｼｰﾄを揃えておりますので、弊社までお問い合わせ下さい。

【測定結果の判定法】

基準範囲[1)]
血清：8.7～10.3 mg/100 mL

使用する基準値は、各施設で決定して下さい。

【性能】

（試験法は弊社試験法による）

1. 感　度：ｱ)精製水を試料として操作した場合の吸光度は、0.320 以下です。
　　ｲ)既知濃度(10 mg/100 mL)の標準液を試料として操作した場合の吸光度からｱ)の吸光度を減じた値は、0.380～0.464 の範囲です。
2. 正確性：濃度が既知の検体を測定するとき、既知濃度の 90～110 %の値が得られます。
3. 再現性：弊社管理試料を 10 回同時に測定するとき、測定値の CV 値は 5.0 %以下です。
4. 測定可能範囲：0～20 mg/100 mL
5. 相関性試験成績：他製品との相関性
　　(X=他製品　Y=本製品　N=91)
　　Y=0.977X + 0.570　r=0.987

【使用上又は取扱い上の注意】

1. 取扱い上の注意

(1) 検体はHIV、HBV、HCV等の感染の恐れがあるものとして取り扱って下さい。検査に当たっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるﾋﾟﾍﾟｯﾃｨﾝｸﾞを行わないで下さい。

(2) 本品はｱﾙｶﾘ性の溶液ですので、誤って目や口に入れたり、皮膚等に付着した場合は直ちに多量の水で洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。

2. 使用上の注意

(1) 試薬は開封後速やかに使用し、保存する場合はｷｬｯﾌﾟを閉めて貯蔵方法に従い保存して下さい。

(2) 有効期間を過ぎた試薬は使用しないで下さい。

(3) 本品中の容器、付属品等は他の目的に転用しないで下さい。

(4) 各々の自動分析機に対応した専用容器に移し替える必要がある場合は、よく洗浄した容器を使用し原則として試薬の注ぎ足しは行わないで下さい。

(5) 試薬使用後は、速やかに装置の洗浄を行って下さい。

(6) ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝは、測定日毎に実施して下さい。

3. 廃棄上の注意

(1) 検体が付着した器具、試薬及び試薬容器等は感染の危険性があるものとし、ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ等で滅菌処理するか、1 %次亜塩素酸等の消毒液に浸して処理して下さい。

(2) 試薬及び器具等を廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理して下さい。

【貯蔵方法、有効期間】

1. 貯蔵方法：2～8 ℃で保存
2. 有効期間：1年6ヶ月（使用期限は外装に記載してあります。）

【包装単位】※※

1. ｼｶｵｰﾄ Ca

商品ｺｰﾄﾞ	商品名（ﾀｲﾌﾟ）	容量
77385	ｼｶｵｰﾄ Ca (SA) 試薬1　緩衝液	300 mL×3
77386	ｼｶｵｰﾄ Ca (SA) 試薬2　発色液	100 mL×3
77673	ｼｶｵｰﾄ Ca (7170) 試薬1　緩衝液	70 mL×4
77674	ｼｶｵｰﾄ Ca (7170) 試薬2　発色液	20 mL×4
77706	ｼｶｵｰﾄ Ca (EPS) 試薬1　緩衝液	70 mL×4
77707	ｼｶｵｰﾄ Ca (EPS) 試薬2　発色液	70 mL×2
75263	ｼｶｵｰﾄ Ca (EM) 試薬1　緩衝液	35 mL×2
75264	ｼｶｵｰﾄ Ca (EM) 試薬2　発色液	15 mL×2

2. 別売品

商品ｺｰﾄﾞ	商品名	容量	上位標準物質
77937	ﾏﾙﾁｷｬﾘﾌﾞ 6M	5 mL×3	JCCRM 321
77098	ｶﾙｼｳﾑ標準液 (10 mg/100 mL)	10 mL×6	特定標準物質 (国家計量標準) 適合品

【主要文献】

1) 日本臨床化学会 ｸｵﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専門委員会：福岡県における臨床化学28項目の基準範囲と標準化, 臨床化学, 30：171-184, 2001

【問い合わせ先】

関東化学株式会社　ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ部
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
Tel 03-6214-1091

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所】※

関東化学株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
Tel 03-6214-1091